2018年度 秋 要望調査票
青年海外協力隊 / 海外協力隊 / 日系社会青年海外協力隊 / 日系社会海外協力隊

要請番号（JL04818B04）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ブータン	H105 看護師		個別	新規	2年	・2019/1・2019/2・2019/3

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

保健省

2）配属機関名（日本語）

ジグミ・ドルジ・ワンチュク国立病院 小児集中治療室

3）任地（ ティンプー県ティンプー市 ） JICA事務所の所在地（ ティンプー市 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 徒歩 で 約 0.0 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

本病院は人口10万人の首都ティンプー市を抱える国内最大の総合病院で、ベッド数約350床、医師約60名、14の診療科目から構成されている。ブータン西部における基幹病院であり、また上級病院として国内中の病院から搬送受入を行っている。配属先となるのは「PICU(小児集中治療室)」となり、そこでは主に小児看護および同医療に関する業務が行われている。2016年に既存の小児病棟から独立した形で小児集中治療ユニットが設立された。2018年5月現在、同病院では4名のJICAボランティアが活動を行っている。年間予算は約101百万円。なお、同病院は隣接する看護学校の臨床実習センターとしての役割も果たしている。

【要請概要】

1）要請理由・背景

現在、同室にはベッド4床(緊急用に予備1床)が設置されているが、常にフル稼働な状況である。専属医師1名と看護師14名が3交代制で24時間看護を行っている。年間入院数はおよそ250～300名で、その症例内訳は交通外傷、骨折、脳血管障害、心不全など多様である。慢性的な人員不足もある中、業務効率化や簡素化、看護技術の平均化を目的としたSOP(標準作業手順書)や各種ガイドラインの作成が急務である。このような状況下で、配属先の1スタッフとして同僚と共に直接の患者対応を行いつつ、同僚に対して小児看護におけるアドバイスや講習会を通じた知識・技術の伝達、また、SOPやガイドラインの作成を支援するためにJVの要請に至った。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

ボランティアは配属先スタッフと協力し、以下の活動を行う。
1.配属先スタッフのPICU看護に関する知識や技術力の向上を目的としたワークショップ等の開催
2.業務効率化や簡素化に繋がるSOP(標準作業手順書)やガイドラインの策定支援
3.5Sを活用しながら環境整備や感染、事故防止等の病棟マネジメントに関する指導や意識改善
4.患者家族に対する指導

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

小児用ICU機材一式

4）配属先同僚及び活動対象者

【配属先同僚】
・看護師長1名(女性:40代)
・看護師14名(経験年数1～10年)
【活動対象者】

・PICU患者およびその家族
・配属先スタッフ

5）活動使用言語	6）生活使用言語	7）選考指定言語
英語	英語	

【資格条件等】

[免許]：（看護師）

[学歴]：（　　）　備考：

[性別]：（　　）　備考：

[経験]：（実務経験）5年以上　備考：同僚への助言や指導が必要なため

[参考情報]：

・PICUでの業務経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候）　気温：（-5～30℃位）　[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可　　電話可）　[水道]：（不安定）

【特記事項】

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.